

令和6年8月21日

第7回

萩市DX推進本部会議

総合政策部 DX推進室



萩市のDX推進体制は、以下の**三層の協議体**により行う

萩市DX推進本部

市長・副市長・教育長・各部長

市のDX推進に係る**基本的方針**、**重要事項**について協議を行う

萩市DX連携会議

WG担当課長、市内IT企業等（オブザーバー）

各ワーキンググループの検討事項について、技術的知見を有する**専門家の意見**も取りまとめた上で、推進本部に提案を行う

ワーキンググループ

関係する業務の各担当者

DX推進に係る**個別専門的な事項**について、調査・検討を行う

重点取組事項

各部署からの提案・課題事項

DX推進方針の改定

システム標準化

生成AIの導入

地域DXの取組み

その他

DX推進方針の改定

萩市 DX 推進方針 (令和5~8年度)

- ・令和4年3月策定
- ・令和5年5月改定
- ・令和6年8月改定

項目	国計画	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期		
推進体制の整備	●	推進体制構築	DX※1 推進本部・連携会議開催									
			ワーキンググループ協議									
		DX人材育成	DX推進員意見交換会		研修 (所属長/DX推進員向け)							
			所属長研修 (総務省派遣制度)		各課DX支援							
		DX発見ヒアリング	実施 (1部局)	実施 (1部局)								
住民サービスの利便性向上	●	行政手続オンライン化	子育て・介護手続オンライン化									
			ポータルサイト開設									
	●	はぎなび※3活用	オンライン申請機能搭載	市民向けコンテンツ検討								
				観光・移住コンテンツ検討								
	●	キャッシュレス決裁導入	WG設置、導入施設など検討			主要施設導入・稼働						
	●	マイナンバーカード普及促進	出張受付サービス実施		(令和6年度継続実施)							
休日受付窓口開設			(令和6年度継続実施)									
		施設予約システム導入	システム選定	導入	主要施設運用開始準備	運用開始	施設拡充検討					
●		書かない窓口導入	導入検討			総合窓口導入・稼働	導入施設拡充検討					

DX推進方針の改定

5

項目	国計画	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期		
市役所庁内業務の効率化	●	RPA※3 利用拡充	導入支援（目標：2,000時間削減効果）									
	●	テレワーク 導入	テレワークシステム検討（運用含む）				次期テレワークシステム構築					
			フリーアドレス※4 一部実施・検証（継続検証）									
		電子決裁等 導入	庶務事務システム※5 稼働									
			文書管理システム構築		文書管理システム ※6 稼働							
	●	システム 標準化	業務フロー見直し等準備		環境準備・			順次				
			ベンダー機能説明等		システム移行・テスト			本番稼働				
		Web会議 環境整備	庁内Web会議利用促進（研修会開催等）									
		チャット※7 導入	Slack※8 現状分析/課題整理		次期チャットサービス検討							
		ローコード ツール※9導入	導入支援		先行業 務稼働		導入業務拡充					
	オンライン ストレージ※10導入	導入		運用・稼働								
	生成AI※11導入			導入検討		導入実施、運用・稼働						
	電子契約導入					導入検討						
	電子入札導入					導入検討						

項目	国計画	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
地域社会のDX	●	デジタルデバインド ※12 解消	スマホ活用講座開催（社会福祉協議会と共同実施）								
			スマホよろず相談所開設（社会福祉協議会と共同実施）								
		地域課題解決 ソリューション※13 導入			計画策定	課題整理	ソリューション検討	ソリューション導入			

補足：用語の説明

- ※1 **DX**：デジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術やデータを活用することにより、業務や組織、働き方・サービスなどを変革させること。
- ※2 **はぎなび**：道路や公共施設などの不具合を市民の方がスマートフォンで気軽に通報・連絡できるアプリ（LINE）。今後は、総合アプリとして機能を拡充していく予定。
- ※3 **RPA**：人が行う定型的なパソコン操作を、ソフトウェアのロボットが代行して自動化してくれるもの。例えば、大量のデータをパソコンに入力する作業などがRPAに最も適した業務。
- ※4 **フリーアドレス**：持ち運び可能なノートパソコン等を使い、オフィスの自由な場所で業務をするワークスタイル。会議室や外出先でも机の上と同じ環境で作業することが可能。
- ※5 **庶務事務システム**：出退勤、休暇、時間外、出張命令等の管理を行うシステム。上司が部下の勤務状況を容易に把握でき、勤務状況などをデータ集計等で見える化することが可能。
- ※6 **文書管理システム**：文書の収受、起案、保存、廃棄などを一元管理できるシステム。文書管理やデータ検索が容易となり、文書保管・廃棄等にかかる労力の削減にもつながる。
- ※7 **チャット**：インターネットを介して、複数の利用者がリアルタイムにメッセージを送信するサービス（主要サービス「LINE」）。導入により社内コミュニケーションの活性化につながる。
- ※8 **Slack(スラック)**：ビジネスチャットとして世界的なシェアを誇るサービス。国の各省庁でも導入を進めている。
- ※9 **ローコードツール**：プログラミングの知識がなくても簡単にアプリやソフトを作れるツール。
- ※10 **オンラインストレージ**：インターネット上にファイルを保存できるサービス。これにより、データが安全に保管される。
- ※11 **生成AI**：コンピュータが文章や画像を自動で作り出す技術。例えば、質問に答えたり、絵を描いたりできる。人間が指示を出すと、それに基づいて新しい内容を作ってくれる。
- ※12 **デジタルデバインド**：インターネットやコンピュータ（パソコン・スマホなど）を使える人と使えない人との間に生じる格差（情報格差）のこと。
- ※13 **ソリューション**：問題を解決するための方法やアイデア。例えば、困ったことがあった時に、その解決策を提供することを指す。「問題の答え」や「解決法」。

DX推進方針の改定

システム標準化

生成AIの導入

地域DXの取組み

その他

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年9月施行）
標準化対象業務を定める政令（略称）（令和4年1月施行）

地方自治体の**主要20業務**について、国が定める標準仕様に準拠したシステムを使用することが義務化。移行期限は**令和7年度末まで**。

※主要20業務

住民基本台帳、戸籍、戸籍附票、印鑑登録、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、個人住民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、健康管理（相談・指導・健診等）、児童手当、子ども・子育て支援、児童扶養手当、生活保護、障害者福祉（特別児童扶養手当等）、介護保険、選挙人名簿管理、就学（就学援助・学齢簿等）

※標準仕様

各省庁が業務毎に策定。最新版はそれぞれ異なるので注意。

※例えば、住民記録システム標準仕様書は、**第5.0版が最新**

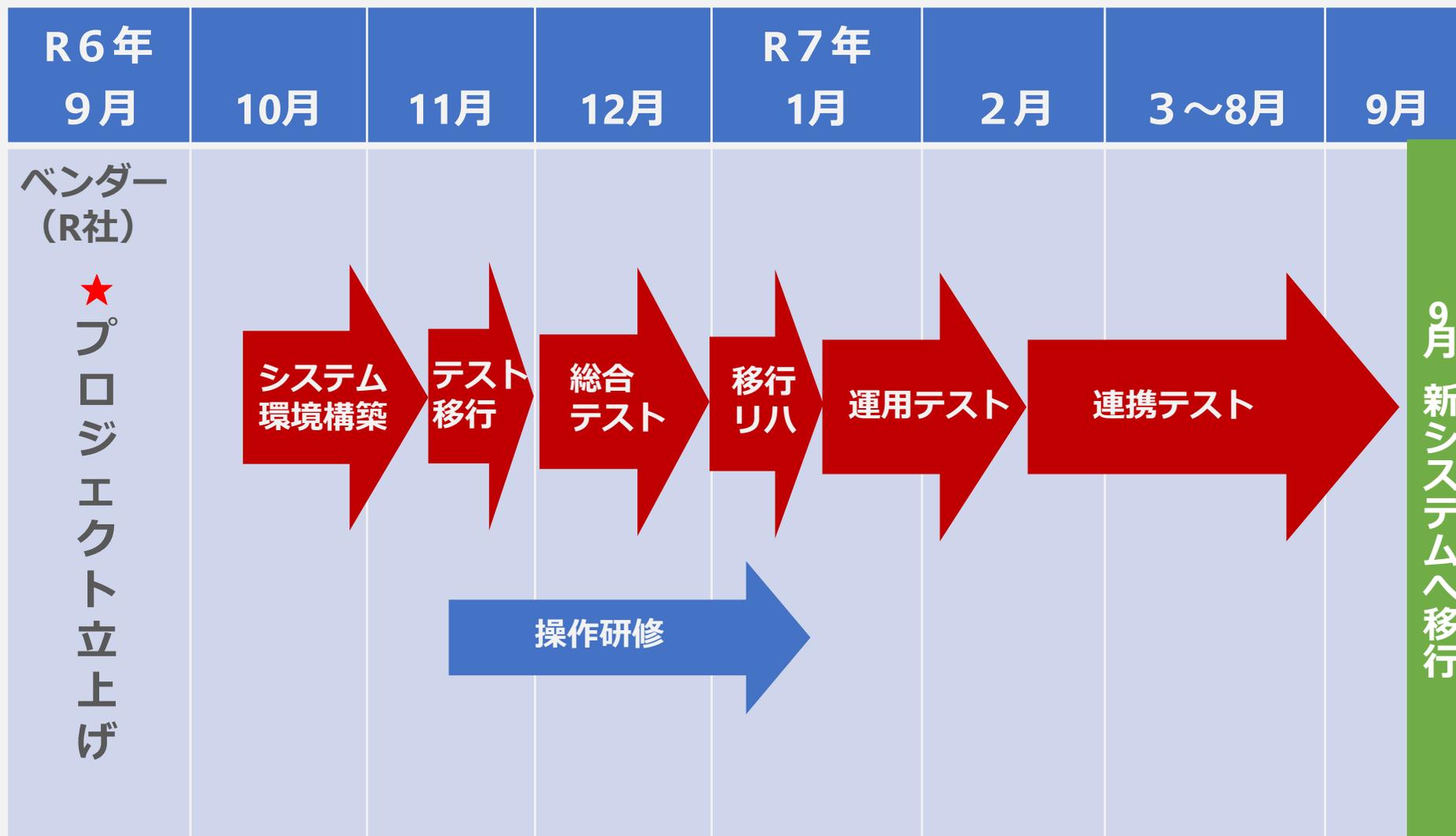
標準仕様書には以下の内容が定義

• システムの機能要件

「実装が必須の機能」「オプション搭載可の機能」「**搭載してはいけない機能**」に定義

• 様式・帳票の要件、レイアウト、**標準準拠システムの使用した場合の業務フロー**

※**定義された様式・帳票の利用が原則**



※ H社（生保）は、令和7年9月に新システムへ移行予定

※ F社（戸籍・附票）は、令和8年1月に新システムへ移行予定

各所属において、以下の対応をお願いします。

1

新システムの業務フローと現状の業務フローとの比較（再確認）

⇒ 差異がないかを**確認**、影響ある場合は**業務見直しを検討**

※ 現行システムの**カスタマイズ等**で対応している場合は**要注意**
（標準仕様では認められないカスタマイズの可能性も）

※ 特に**搭載できなくなる機能**、**変更がある様式・帳票**について、
影響がある部分がないか**確認**、**対応を検討**

2

各種テストのための準備

⇒ テスト帳票の調達、現行DB チェックなど

※ **最新の標準仕様書**を確認

3

操作研修への参加、各種テストの実施

DX推進方針の改定

システム標準化

生成AIの導入

地域DXの取組み

その他

生成A Iとは

テキスト、画像、音楽、動画などの新たなコンテンツを生成することができる人工知能の一種



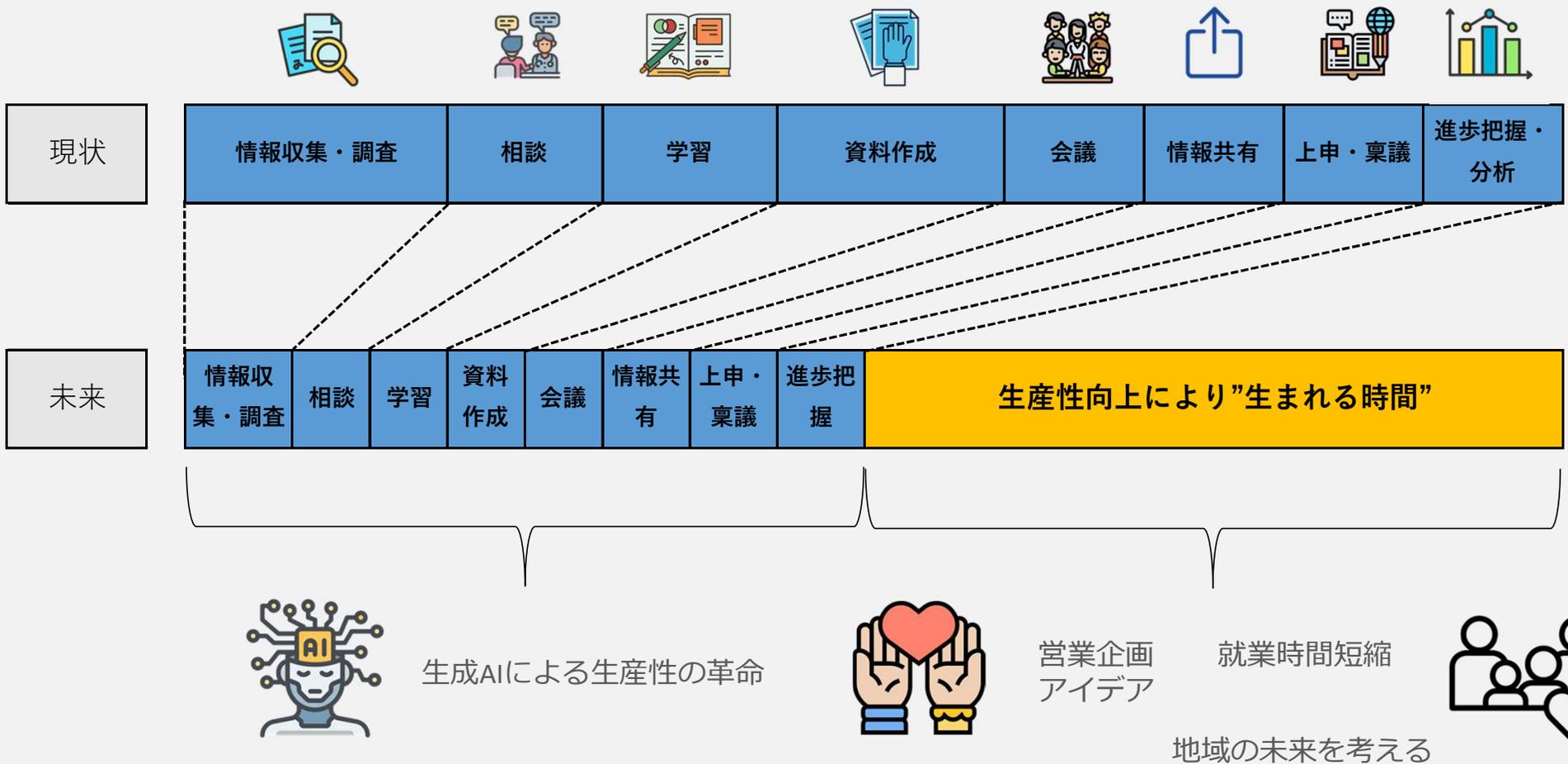
主な特徴

- ・ 創造性: 新しいアイデアやコンテンツを生み出す能力
- ・ 学習能力: 大量のデータからパターンを学習し、応用する能力
- ・ 多様な応用: テキスト生成、画像生成、音声合成など多岐にわたる分野で活用



生成AIの導入目的

業務の効率化



● 生成AI導入による業務への活用事例・利点

多様な企画立案の高速生成

人間の能力を超える速度と量で多様な企画案を生成し、意思決定プロセスを効率化、最適化できる



決裁規程やマニュアルの検索エンジン

事項を入力すると、決裁区分などを教えてくれる



あいさつ資料作成

短時間で高品質な資料の作成が可能になる



FAQ作成

窓口や職員間のやり取りする時間を削減することができる



経過と現状と今後のスケジュール

5月～6月 行政向け生成AIサービスのトライアル利用

- ・ 庁内情報のデータ連携が可能
- ・ 行政用のテンプレートの使用が可能
- ・ 禁止ワードの設定、マスキング処理が可能

8月16日 公募型プロポーザル実施開始

10月下旬 業者決定

11月下旬 生成AIサービス利用開始

12月～3月 ガイドライン策定、職員研修

DX推進方針の改定

システム標準化

生成AIの導入

地域DXの取組み

その他



■ 昨年度の振り返り

ビッグデータ利活用事業としてビッグデータワーキンググループを起ち上げたが、予算化には至らなかった。

■ 今年度の取組み

- 特定の技術やサービスに捉われることなく、**萩市が目指す姿や課題解決（X：目的）**を**デジタル技術を活用して（D：手段）**実現することを目的に地域DXワーキンググループ（地域DXWG）の起ち上げを実施。

地域DXWG	関係団体	2024.7.9
商工振興課	萩商工会議所	地域DXWG内で協議を実施し現状の課題と今年度の取組みを共有
観光課	萩市観光協会	今後は関係団体や事業者等を交えた協議を検討
文化財保護課	萩市観光協会	
DX推進室		

- 地域DXWG及び関係団体を交えつつ、総務省の**地域デジタル基盤活用推進事業（計画策定支援）**を活用し、地域課題の整理をサポートいただく予定

事業概要	
支援期間	3ヶ月程度
支援方法	10回程度のミーティング、2回現地訪問
支援内容	解決すべき地域課題の調査、分析、整理からデジタル技術を活用した当該地域課題の解決策の検討及び立案を伴走支援

DX推進方針の改定

システム標準化

生成AIの導入

地域DXの取組み

その他

ノーコード宣言シティー(地域DXの取組み) 19

萩市では、様々な地域課題の解決をデジタルを用いて解決する目的を実現するために、本年度ノーコード推進協会の働きかけの中「**ノーコード宣言シティプログラム**」の参加を検討しています。

ノーコード宣言の例

概要	内容
①システム構築の加速とコスト削減	職員自らが「ノーコード」を活用したシステム構築に取り組むことで、構築のスピードアップとコスト削減を目指します。
②ノーコードによる職員の働き方改革	「ノーコード」を活用することで、職員の業務時間短縮と職務の柔軟性向上を実現し、職員の満足度向上を目指します。
③ノーコードによる地域社会への貢献	「ノーコード」を活用することで、住民サービスのデジタル化、モバイル化を促進し、先進の住民サービスを提供することで、地域住民や地域企業の満足度向上を目指します。
④ノーコード人材の育成	職員と住民のリスキングの一環として職員自らが「ノーコード」の活用を学び、地域住民や企業にも「ノーコード」活用を働きかけ地域全体のデジタル競争力強化を目指します。
⑤ノーコード宣言シティのアピール	日本のソフトウェア文化の変革に向けて、自治体における「ノーコード」活用事例の広報に取り組みます。

宣言自治体

愛媛県伊予市	静岡県焼津市	鹿児島県奄美市	福岡県飯塚市
鹿児島県指宿市	福岡県直方市	熊本県小国市	北海道旭川市
静岡県伊豆市	北海道釧路市	茨城県下妻市	岐阜県下呂市
秋田県仙北市			

萩市が宣言シティプログラムに参加すると、**中国地方初!** (R6.8.21現在)

ノーコード宣言シティー(地域DXの取組み) 20

ノーコード宣言シティープログラムに参加することによるメリット

- ・ デジタルに前向きで先進的というイメージがアップする。
- ・ 優秀なIT人材の確保が期待できる。
- ・ 要望に応じた個別企画の独自研修プログラムを受けられる。
- ・ 商工会議所や観光協会などの外部団体との個別イベントのサポートを受けられる。
- ・ ノーコード推進協会会員企業へのワーケーション地として推奨される。

ノーコード宣言シティー(地域DXの取組み) 21

萩市では、R2年度からローコードツールである「RPA (WinActor)」、R5年度から「kintone (キントーン)」の導入を実施し、業務効率化を図っています。

 WinActor[®] 代表的なRPAの活用業務

担当課	業務概要	RPA活用概要
会計課	支出負担行為兼支出命令作成業務 ※各課が利用	①支払い先をエクセル管理 ②RPAを活用して兼命令を自動入力
課税課	登記異動通知取込処理	①RPAで法務局より提供のあった登記異動通知のCSVをマージし一つのエクセルに統合 ②①のエクセルからRKK総合行政システムへ自動登録
収納課	一括還付業務	①収納画面で過納金額の確認、画面コピー作業をRPAで自動化

現在19業務で約1,700時間の削減効果を上げている。

 kintone^{キントーン} 代表的なアプリ一覧 (抜粋)

担当課	アプリ	概要
総務課	文書管理システムQ&A管理	文書管理システムに関するQ&A集を公開
人事課	募集に関する調査票	会計年度任用職員の募集に係る調査を行う
防災危機管理課	警戒配備報告 (配備時)	警報発表等に伴う警戒配備 (避難所開設を含む) の報告を、アプリも用いて行う。
おいでませ、豊かな暮らし応援課	空き家情報バンク物件管理	空き家バンク登録物件の所有者・物件管理
	はぎポルト相談者管理	はぎポルト相談者管理・相談記録の管理
DX推進室	自動車運転日誌・運行前点検記録簿	自動車運転日誌・運転前点検記録簿を入力

現在公開アプリは27個、その他未公開や作成途中のアプリ多数を含めると92個のアプリが存在している。